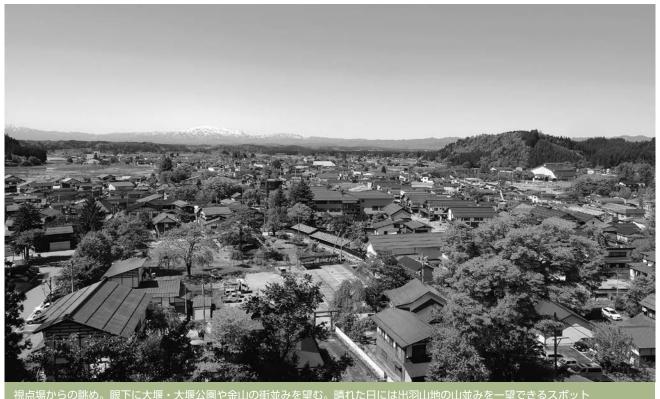
わん かねやま ANEY

オンリーワンな町の ナンバーワンをさがせ! ev. OPICS



愛情が注がれているのです。 訪れる楯山。そこには地域住民の きれいに整備され、多くの方が

夫しき楯山の眺望

側に森合峠を望むことができ、楯 湯殿山、羽黒山の山形県中央部に ります。南側を南東部から南西部 が江戸時代の宿場町であったこと 山の持つ歴史だけでなく、金山町 えの路として、南側に上台峠、西 きます。また、旧羽州街道の峠越 連なる出羽山地の山並みを一望で にかけて望むと、葉山から月山、 眼下には町中心部の街並みが広が を実感できる場所でもあります。 視点場からの眺望は主に南側

「楯山からの金山の街並みと月山・葉山の眺め」

眺望景観資産とは

加のもと、楯山で執り行われまし 山形県・町・楯山を愛する会の参 定書と標識の授与式が4月27日、 街並みと月山・葉山の眺め」の指 に指定された「楯山からの金山の 昨年12月に山形県眺望景観資産

は、楯山ふもとの内町地区有志に

楯山の里山保全活動や修景整備

楯山は我々が守る

所が眺望景観資産に指定されてい まちづくりに生かすことを目的と ます(平成30年4月末現在)。 しています。県内では8市町9か に指定することで、地域づくり き良好な眺めを「眺望景観資産 将来の世代に引き継いでいくべ

眺望景観資産として末永く後世に

期もありました。 美しい眺望が失われつつあった時 った楯山も、手入れが疎かになり、 が咲き、内町地区住民の拠り所だ われています。かつては一帯に桜 よる「楯山を愛する会」により行

場として再生。今では大堰から続 ち上がった「楯山を愛する会」。 ようになっています。 て、町内外から多くの方が訪れる く新たな町の景観スポットとし った結果、美しい街並みを望める など、細やかな視点場の整備を行 は桜のライトアップにも取り組む どの修景整備や草刈や施肥、春に しだれ桜の植樹、視点場の整備な 観を取り戻したいと平成19年に立 そこで、以前のような楯山の景

動していく」と受賞に際しての思 長く親しまれるよう、引き続き活 りなど継続的な管理が課題だが、 いを語ってくれました。 今後も町のシンボルとして後世に 会員の皆さんも高齢化。山の草刈 いたものと感謝している。現在は 定は当会の活動も評価していただ 楽しめるようになった。今回の指 いろいろな木や花を春から秋まで 当会代表の丹潔さんは「楯山は